

ほけんだより 9月号

令和8年8月保健室
川崎市立稲田小学校

長かった夏休みも明け、学校に子どもたちの元気な生活が始まります。ご家庭での健康管理もありがとうございました。これから久しぶりの学校生活が始まると、少しずつ子どもたちにも疲れが出てくるかもしれません。無理なく少しずつ生活リズムを取り戻していけたらと思います。何か気になることがあれば、いつでも気軽に保健室へご相談ください。

健康診断 結果のお知らせの提出について

◎夏休み中に、健康診断の所見に関して、病院受診が済んだ方は学校へ「結果のお知らせ」をご提出ください。また、ご家庭での健康観察も引き続きよろしくお願いします。

健康相談について

夏休み明け、いつも通りの学校生活に慣れるまで、不安があったり心配があったりすると思います。お子さんの気になることや心配がありましたら、どうぞ遠慮なく学校へお知らせください。

お子さんがいつでも相談できるように「けんこうそうだんボックス」を保健室前廊下にも設置しています。なかなか言いにくい相談や、悩みなどにも「けんこうそうだんボックス」を活用して支援につながれたらと思います。ご家庭でもお子さんに「けんこうそうだんボックス」のことをお話していただけるとうれしいです。

「かながわAED宣言」について

神奈川県が取り組む「かながわ AED 宣言」をご存知でしょうか。救急隊が到着するまでの間、その場にいる人が AED を使うことで救命率は大きく上がります。ご家庭でも通学路や近所の設置場所などご確認できる機会にしていだけたらと思います。【神奈川県のホームページでも紹介しています】

「かながわ AED 宣言」とは、

AED は、救命救急の場面において、突然の心停止から、いのちを救う大変重要なものです。そこで、神奈川県では、県民の AED の認知度 100%を目指し取り組みを行っています。

- ・知ろう!AED
- ・学ぼう!(どうって使うの?)
- ・覚えよう!(どこに設置してあるの?)

学校における献血への理解増進にむけて

近年、少子化の影響等により若年層の献血者数の減少が顕著となっていることから、将来にわたり安定的に血液を確保するために、献血可能年齢前の児童生徒も含め、若年層を対象とした献血の普及啓発が重要とされています。そこで、小中学生から献血に対する理解を深め、ご周知いただき理解増進に向けて取り組んでいただきますようお願いします。

今夏の急性呼吸器感染症（ARI）等への対策について

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症をはじめとする急性呼吸器感染症（以下「ARI」という。）等の今夏の流行に備え、「今夏のARI等への対策」をご家庭でも適切に対応していただけたと思います。

□急性呼吸器感染症（ARI）とは？

急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。

例：インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ

□なぜ急性呼吸器感染症（ARI）への対策が必要なのか？

急性呼吸器感染症は、ウイルスや細菌など多様な病原体によって引き起こされ、臨床的には急性の上気道炎又は下気道炎を呈すものであり、飛沫感染、接触感染などを中心に感染が拡大し、場合によっては罹患後に重症化する等の特徴を持っています。

□基本的な感染対策

- 外出後の手洗い等：流水・石鹸による手洗いは手指など体についた病原体を物理的に除去するために有効
- 適度な湿度の保持：空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下し、かかりやすくなる
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取：体の抵抗力を高める事ができる
- 人混みや繁華街への外出を控える：外出する際は、不織布マスクが有効
- 室内ではこまめに換気する：常時換気設備や換気扇を常時運転し、最小限の換気量を確保が大切

□情報提供について

厚生労働省はホームページ等にて、ARIの発生状況等（発生動向情報など）を更新して、公表しています。

まだまだ暑い日が続きますが、これから秋～冬にかけて寒さや乾燥が増す季節を迎え、急性呼吸器感染症（ARI）が本格的に流行する時期となります。改めて日常における基本的な感染症対策をお願いします。

周囲の方に対する香りへの配慮について

洗濯物の柔軟剤などの香りで頭痛や吐き気がする方が見られます。快適な香りでも困っている人がいることをご理解いただき、香りつき製品の使用に関しては、周囲の方にもご配慮いただけるようお願いいたします。使用される場合は、使用量の目安なども参考してください。